



令和8年（2026年） 石垣市新川児童館だより

〒907-0024

石垣市新川 2212-9

TEL 0980-87-7747

FAX 0980-87-7748

- 新川児童館は、0～18歳未満のすべての子どもが利用することができます。
- お子さんを預かる施設ではないため、利用時の来館・退館時間（帰る時間等）はご家庭で約束をした上でご利用ください。※未就学児は保護者の同伴が必要です。
- 来館の際は必ず水筒を持参してください。ペットボトルや缶はダメです。
- 駐車場が満車の際は、他に停める場所はありません。徒歩か公共交通機関をご利用ください。

5年間生きたビッグベビー（金魚）が天国に行きました



リレー



2年生町探検



イラストグループ

ドリブル練習



「段ボール迷路」準備中なので、図書室は大混雑



7月の思い出

塗り絵



昆虫観察



窓掃除



月1の夜間パトロール



～夏休みバージョン～

ころころスロープ



DIY



段ボール迷路準備



避難訓練



ドミノで作りました



スイカ割り



ラジオ体操



「夏のドッジボールマッチ」今までで一番の盛り上がり。素敵な姿が見れたドッジボールマッチでした。表彰も嬉しいそう。



大切なおしらせ

★新川児童館駐車場が満車の場合は、他に停める場所はありません。

※絶対に空き地や団地内、路上駐車はお止めください。



★緊急時以外は電話をお控えください。「児童館に来てますか？」の電話が多く困っています。

※午後は電話が取れないことがあります。御用のある方は午後 15:00までに連絡をお願いします。

緊急時とは→「行方不明」「こどもが 18 時過ぎても帰ってこない」等（生死に関わること）

緊急時以外とは→「習い事に行かせてください」「帰って来てと伝えて」等（生死に関わらないこと）



★児童館はこどもを預かる施設ではないため、利用時の来館・退館時間（帰る時間等）はご家庭で約束をした上でご利用ください。また、こどもの意思を無視し、児童館に置いていく行為もお止めください。

つれて行く時は必ず、「児童館に行きたいのか？」こども達的意思確認と約束事をして来館してください。



★長期休みの平日（月～金）は、「午前中から小学生以上が優先」となります。乳幼児さんは、「乳幼児のお部屋」のみになりますので、ご了承ください。※夏休み期間は乳幼児さんの活動はありません。

★新しい年度になりました。利用登録（年度更新）が必要です。利用登録は、ケガや事故・事件などが起きたときに、迅速に保護者と連絡を取る為に必要になります。必ず利用登録をお願いします。

★「体育館使えますか？」とよく質問があります。午後の時間はこども達が相談し合い、自分達で遊ぶ内容を決めている為、総合体育館のように予約して利用できるわけではありません。予めご了承ください。

館長のひとこと

こどもとの距離感

夏休みに突入し、児童館では「朝のラジオ体操」や「夏休み行事の準備」、そして毎日元気いっぱい「あそぶ」子どもたち。様々な経験を積み重ねながら、心も体も大きく成長していく姿を実感し、とても嬉しく思います。そんな子どもたちを見ると、私たち大人の「こどもとの距離感」について考えさせられることがあります。

こどもは本来、「やってみたい」「できるようになりたい」という気持ちを持っています。しかし、その挑戦の前に大人が「危ないからやめなさい」「あなたには難しいから、こっちにきなさい」と先回りしてしまう場面が多く見られます。もちろん、本当に危険なことを止めることは大切です。しかし、必要以上に失敗や危険を避けさせ続けると、子どもは自分で考えたり、自分で決めたりする経験を積むことができません。その結果、「指示がないと動けない」「失敗を他人のせいにしてしまう」といった姿につながることもあります。

こどもの発達には、一段一段階段を上るように進んでいきます。

「転んで立ち上がる経験」、「人とぶつかりながら仲直りする経験」、「自分で考えて挑戦する経験」、その一つひとつが発達には必要です。



例えば、ハイハイを始めた子どもを「危ないから」とずっと抱っこで移動させていると、歩き始めた後も転びやすくなり、体の使い方が育ちに悪くなる場合があります。また、小学生になっても「心配だから」と常に預かり施設等で管理したり、自宅でお留守番を続けさせることで、自分で判断したり、人との関係を築いたりする力を十分に育めない場合もあります。こどもは成長とともに、依存する相手が「親」から「家族」「先生」「友達」へと少しずつ変化していきます。この変化に合わせて、大人も少しずつ手を離し、見守る距離へと変えていくことが大切です。

私たち大人の役割は、子どもが転ばないように道を平らにすることではありません。転んでも立ち上がれるように支え、困ったときには安心して戻って来られる場所であることです。これからの時代は、SNS やゲームとの付き合い方がますます問われる社会になります。そのとき、人間として必要



になってくるのが、人と関わる力や、自分で考え、自分で決める力です。その土台は、子どもの頃の様々な経験の中でしか育まれていきません。子どもの将来を思うからこそ、「守ること」と「任せること」のバランスを大切にしたい。少しずつこどもとの距離を変えながら、その子らしい成長を信じて見守ること。それこそが、こどもの自立を支える最も大切な関わり方ではないでしょうか。過保護にも放任にもならないよう、タイミングを見極めながら関わって行けると良いですね。